

JIS 規格の廃止の概要

JIS Z4752-2-6 医用画像部門における品質維持の評価及び日常試験方法－第2－6部：不変性試験－医用X線CT装置

・この規格は、この規格は、X線CT装置の不変性試験の方法について規定したものであり、2001年に制定された。その後、対応国際規格であるIEC 61223-2-6は、X線CT装置の検出器多列化などの最新の技術動向、小児検査の低線量条件対応などCT検査の多様性及びそれらに合わせた線量の定義の変更などに対応するため、規格利用者の利便性も考慮し、X線CT装置の受入試験について規定するIEC 61223-3-5に統合され、IEC 61223-3-5は、X線CT装置の受入試験及び不変性試験について規定する規格として2019年に改訂された。

・このような状況から、最新の技術水準に合わせ、X線CT装置の性能の維持・管理を適切に行うため、IEC 61223-3-5に対応するJIS Z 4752-3-5にJIS Z 4752-2-6を統合するなど国際規格と整合したJISに改正することとした。このため、この規格を廃止するものである。